

平成22年雲南市議会3月定例会一般質問通告一覧表

平成22年3月8日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
1	3	山崎英志 (一問一答)	1.公立雲南総合病院の市立化について  2.組織機構再編について  3.住宅リフォーム助成について	(1)平成23年4月からの市立化に向けての取り組みの現状と課題について伺う  (2)平成21年3月に策定された「公立雲南総合病院ステップアッププラン」の進捗状況とその評価について伺う  (3)平成14年に比べ半減した医師数の今後の確保対策とその確実性について伺う  (4)平成21年度末時点での累積赤字が約26億円と想定されているが、市立化後の経営の健全化に向けた具体的方策について伺う  (5)老朽化した西病棟の建て直し計画について伺う  (1)定員管理計画により平成32年度に職員を474名まで減らす計画であり、それに対応して組織機構を再編する計画であるが、各総合センターの人員・機能についてはどういう構想であるのか伺う  (2)本庁から離れた旧町に対する今後の支援のあり方について伺う  (1)平成21年度に実施した「住宅リフォーム事業補助金」についての評価を伺う  (2)市民からの要望の多い「住宅リフォーム事業補助金」を平成22年度に再度予算化し、実施する考えがないのか伺う	
2	13	藤原信宏 (一問一答)	1.建設事業の計画的推進について	(1)国の事業としては廃止となった農道整備(継続中の熊萱地区他4本の県営農道整備等)事業の今後はどうなるか  (2)同じく廃止の農地有効利用支援整備事業はどうか	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
				<p>(3)木次三刀屋 I.C 以北の尾道松江線や山陰自動車道の無料化は雲南市の衰退を招き、国道 54 号 4 車拡幅の継続をも危うくする。高速道路の無料化実験をどう認識し、どのような対策を講ずるのか。市長の所見を問う</p> <p>(4)国道 54 号三刀屋拡幅事業について</p> <p>①早期に 4 車拡幅 3 期工事の確たる道筋を付けるためには、雲南市の本気度を示す必要がある。国の事業を促すためにも里方交差点の十字路化や中央分離帯設置で必要となる背面補完道路整備を早急に事業化すべきと考えるがどうか</p> <p>②4 車化事業のインター線交差点から広島側にあっては先が不透明。変更も予想される都市計画決定のため、事務所移転や家屋建築に戸惑う市民に親身に指導されたいがどうか</p> <p>③東町地区の公共下水道未接続家屋の対応はどうか</p> <p>(5)主要地方道出雲三刀屋線伊萱工区工事中断の状況と今後の推進について何う</p> <p>(6)採択された議会陳情(建設事業)をどのように受け止め、定期的にどう整理・点検して計画実現に向けて努力しているのか市長に問う</p> <p>(7)雲南総合病院の西棟建築について</p> <p>①西棟建替の必要性の市長の認識を問う</p> <p>②市立病院化、健全経営を考える上で、現在地での建替に全く疑問は無いのか市長の所見を問う</p> <p>③西棟建築は 40 億円を超える大事業である。建設基金の積立等も考慮した数年来の財政計画がなければ不可能だ。早期に建設の意向を打ち出し財政計画上への検討が必要と考えるがどうか</p> <p>(8)新庁舎建設の必要性の認識と取り組みを問う</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
				(9)新庁舎建設等はまちづくり方針の根幹に関わるトップ課題で、方針を打ち出して選挙民の賛否を問うべき重要政策である。選挙で選ばれた政治家として市長は建設事業を通じた新市の一体的発展を目指すまちづくりの構図、基本的・体系的な整備方針、将来像をどのように描いているのか、まちづくりの基本的考えを伺う	
3	2	周 藤 正 志 (一問一答)	1.雲南ブランド化プロジェクト及び総合計画後期基本計画について  2.雇用・経済対策について  3.行財政改革と協働のまちづくりについて  4.公共交通政策について	(1)まず、雲南ブランド化プロジェクトの初期3年間の総括はどうか  (2)「オーベルジュうんなん」の進捗状況と経営の見通しはどうか  (3)人口減少に対する危機感が乏しい。定住対策の施策と組織体制を強化すべきではないか  (1)市の雇用(高校就職内定率など)及び経済状況はどうか  (2)平成22年度予算における雇用確保・創出及び経済浮揚策は何か  (3)林業を再生し、成長産業とする取り組みがなされているか  (1)行財政改革実施計画は事務事業評価と連動していないのではないか  (2)雲南市版「事業仕分け」を行うべきではないか  (3)交流センターが始動するが、地域活動(自治会、地域自主組織など)への財政的支援を強化すべきではないか  (1)JR3月ダイヤ改正の影響について、今後どう対応にするのか	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
				<p>(2) トロッコ列車 10 年をどう総括し、今後活かしていくのか</p> <p>(3) 市民バスは地元ニーズをどう把握し、応えているか</p>	
4	17	堀江治之 (一問一答)	<p>1. 地域防災計画における避難所の安全確保について</p> <p>2. 雲南総合病院の市立化に対する対策について</p> <p>3. 高速道路「尾道・松江線」供用開始に向けての対策について</p> <p>4. 三刀屋川の治水対策について</p>	<p>(1) ハザードマップに掲載の避難所一覧表個所の安全確保について伺う</p> <p>(2) 高齢者や障がい者の避難先としての福祉避難所の指定について伺う</p> <p>(3) 各地域で避難所として指定されている学校等の耐震化方針について伺う</p> <p>(1) 平成 23 年に雲南総合病院は市立化の予定であるが、病院運営に対する財政・職員等の支援方針について伺う</p> <p>(2) 病院施設の耐震化対策の方針について伺う</p> <p>(3) 患者に対するサービス方針について伺う</p> <p>(1) 3 年後には尾道・松江線は三次 JCT まで供用開始予定との事であるが、供用開始により、何に期待をするのか伺う</p> <p>(2) 雲南市内への各種入り込み増等の対策とストロー現象防止対策について伺う(観光交流・転入定住・転出防止・物品の市内購買・その他)</p> <p>(3) 雲南ブランドの重点的に情報発信対象とする地域と名産・特産の拡充・開発に対する雲南市の支援策について伺う</p> <p>(1) 三刀屋川の河川整備計画と現状について伺う</p> <p>(2) 三刀屋川の河川断面は計画洪水量に対応できる断面となっているのか伺う</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
				(3)管理者である島根県へ河川整備要請の考えはないか 伺う	
5	19	小林 眞二 (一問一答)	1.定住自立圏構想について  2.尾原ダム受水について  3.雲南病院の経営健全 化・改革について	(1)改めて定住自立圏構想のねらい、目指すものは何な のか伺う  (2)雲南地域定住自立圏構想等調査研究会においては、 この構想の推進について批判的であるが、出雲市は 単独で名乗りをあげた。この施策推進についての市 長の所見を伺う  (3)広域行政の取り組みで3組織の統合を発表された。 その中の雲南消防組合は県においても組織の見直し が考えられている。いずれの組織改変においても影 響が出るのではと思うがどうか  (1)平成 23 年から始まる斐伊川水道事業で受水する自 治体は  (2)各自治体の受水量は何トンで単価は。年間総額はい くらになるか  (3)雲南市の受水分はどのように利用するのか  (4)給水単価はダムや給水施設の建設費と管理費を自治 体が最大受水量と通常受水量に応じて負担する仕組 みになっているとのことであるが、現状認識ではど うか  (5)ダム建設当初の受水量は人口減少などによって供給 過剰(1万トン)となっていると聞くが現状は  (6)仮に供給過剰が現実なら雲南市の誘致企業対策に利 用できないか  (1)所信表明の中で「市民生活の安心安全を確保するた め、市立病院の開設を目指す準備を進めていきたい」 との考えだが、具体的にはどんなことを示すのか	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			4.行政対応について	<p>(2)市立化に向けて新体制づくりをされたが、経営の健全化及び改革につながるか</p> <p>(3)医師・看護師不足の状況は益々厳しさを増している。現状での医師・看護師の確保の状況と取り組み、今後の見通しについて伺う</p> <p>(4)悲鳴やため息、過重労働にあえいでいる病院現場に管理者はどのように接しているか</p> <p>(1)施策の内容によっては要請があれば早く自治会に出掛けて理解を得るべきでは(例えば音声告知放送など)</p> <p>(2)現在加茂町内の大型看板が改装されている。旧町名が入っていても良いのでは。また、今後は何時、どのような計画で市内各所の看板を改装するのか伺う</p>	
6	21	深田徳夫 (一問一答)	1.雲南市総合計画の後期計画の施策について	<p>(1)後期計画のキーワードは定住が基本と考える。そのためには保健・福祉・医療の充実しかない。市長の見解を伺う</p> <p>(2)保育料の各段階層の格差比率が低所得者に配慮が足りない。改定比率を今一度見直し、全体を下げる方向で検討されてはどうか</p> <p>(3)次世代育成支援行動計画の若者アンケートに保育料の軽減と幼児医療費の軽減を望む声が圧倒的、保育料の大幅な軽減と医療費の無料対象者の拡大の考えはないか伺う</p> <p>(4)雲南病院の建物の耐震度は基準値からどうか。併せて建物の建て替えは市立化後からの検討では遅い。検討会の早期立ち上げの考えを伺う</p> <p>(5)医療器具の充実が病院運営の要である。医療器具の充実、特に電子カルテの導入は早急に行うべきと思うが如何か</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			2.健康長寿を目指す取り組みについて	<p>(6)医師確保について、雲南市内の家庭からの医者が誕生し、各地で活躍されている。ご家庭の協力を得て雲南病院への協力はできないかなどの意向調査をしてはどうか</p> <p>(7)雲南病院は市立化に進んでいる。広域連合では事務の効率化を目指し、統合が進められている。2町が離脱からの市立化ではあるが、雲南医療圏域内の連携により医療不足や診療科等の効率化を図ることも考えられる。これだけ医師確保が困難である中でどう連携すべきか。意見交換の是非を伺う</p> <p>(8)無縁社会になってはいけない住宅政策の中に、高齢者夫婦・高齢独居の方などが助け合う住環境整備が必要。高齢者住宅等の早期建設の考えは</p> <p>(9)認知症対策として特定高齢者の対象基準の緩和が必要と考えるが如何か。また、認知症早期発見システム構築をどう図る考えか。併せて包括支援センターの職員の増員が不可欠と思うが如何か</p> <p>(10)在宅介護の支援策として市民税非課税世帯で要介護3・4・5の方に介護用品等の利用券の支給と1年間全く介護サービスを受けなかった方に介護慰労金の支給の検討をされてはどうか</p> <p>(1)平成20年度と平成21年度の各種の健康受診率を伺いたい。併せて受診率の分析をどのようにされているのか伺う</p> <p>(2)健康診断・予防活動に雲南病院と連携するため、保健師を雲南病院に大幅に派遣し、共同で行う考えはないか。検討すべきと思うが如何か</p> <p>(3)「がん撲滅宣言」と「公共的施設における受動喫煙防止条例」の制定の取り組みの考えはないか</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			3.教育関係について	<p>(4)地区福祉委員会の福祉推進員の報酬として市と社協で月4万円の支給に加え、調査事業として年17万円が報酬として示されていた。いきいきサロンの活動費として予算計上されているが、調査事業ではなかったのか。いきいきサロンの活動とは何をする活動なのか</p> <p>(5)福祉推進員にはその活動内容の説明を行い就任されているか。いきいきサロンのグループへの助成が打ち切られた。それが活動費としての報酬になったのか</p> <p>(6)平成21年度は助成もあり、運動指導・健康指導などの費用に充てることが出来たが、今年は保健師等が無条件で責任を持って行うことと理解してよいか</p>	
			4.テレビのデジタル化について	<p>(1)教育基本計画と改定指導要領の整合性と土曜日の教育時間確保の考え方を伺う</p> <p>(2)極少小規模校等の統合について、雲南市の教育の均等性からも積極的な統合が望まれる。教育委員会は前期・後期と分けをされたが、全て待ちの姿勢なのか伺う</p> <p>(1)平成23年7月開始のデジタル化について、説明が十分ではない。特に利用料について負担増になることから不安が広がっている。負担増を求める説明責任を果たすべきと思うがどうか</p>	
7	8	安井 誉 (一括)	1.雲南ブランド化戦略について	<p>(1)現在の取り組み状況と基本的な考え方について伺う</p> <p>(2)雲南地域のデザインは何が基盤と考えられるか</p> <p>(3)歴史・文化・農と林、そうしたものの価値と融合性についての考えを伺う</p> <p>(4)ブランド化戦略策定に至る市民への啓発と理解を得る手段をどう考えているのか伺う</p>	



質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
				<p>(5)アピールの方法として学校教育に交流活動等取り入れるなど、ブランド化戦略を各部局の個別事業に反映し、総合的施策としての重要性を伺う</p> <p>(6)ブランド化政策には労力と時間が必要であり、その実行のための予算が必要であると思う。ブランド化推進に対する予算の強化を望むがその考えは</p>	
8	4	高橋雅彦 (一問一答)	<p>1.雲南市総合計画後期基本計画の策定について</p> <p>2.緊急雇用対策について</p> <p>3.雲南病院の市立化の課題について</p>	<p>(1)平成21年秋から着手をされているが、具体的にどのような方法でどのような範囲で検討されているか。また、新たな課題と市民への影響をどのような判断で進められるのかプロセスを伺う</p> <p>(2)全体の進捗状況はどの程度か</p> <p>(3)市民の声はどのように反映されるのか</p> <p>(4)従来から主張している合併前の構想と合併後の現実ではギャップが発生している。また、5年間に社会は大きく変化している中では理念は見直す必要はないが、大局的な費用対効果、住民が今求めているものを市民と一緒に見直す必要を痛感するがどうか</p> <p>(1)現在、どのような方がどのような業務に従事されているか</p> <p>(2)市内企業に対して当該費用を活用し、再就職や新事業開発に人材活用はできないか</p> <p>(1)すでに市立化に向けてのスキームは確立されているが、経営改善や医師確保に向けての取り組みの具体化は不十分と考える。特に勤務医の労働過重は限界にきている。医師の負担軽減に知恵がだせないか(全国の事例を参考に)</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			4.リフォーム助成の継続 について	(2)雲南病院が引き続き地域医療の中心として躍進するには、病院・医師会・行政・市民が一体となって守る必要がある。本年4月から病院も新しい体制になるが、この機会にそれぞれの役割を明確にする協議会などを立ち上げ、市民レベルで考える体制を築けないか  (1)昨年のリフォーム助成制度は、住民からも業者からも高く評価を得、経済効果も大きかった。厳しい地域経済を踏まえ、引き続き取り組みができないか	
9	7	土江良治 (一問一答)	1.ふるさと納税について  2.結婚対策について  3.「古事記編さん1,300年」 への対応について  4.トロッコ列車について	(1)市内公共施設に働く市外居住者は何名か ①現在のところの市職員(正職員)は何名か ②この制度を利用している奇特な職員は何名か ③市外居住者で籍を市内にしている職員は何名か  (2)基金の取り崩しで編成される各年の予算。自主財源が乏しい本市にあって本税制の利用は極めて合法的有効と考えるが、全員が実行できるように自覚を促す指導をされないのか。また、都市に出ている息子がふるさとに帰省時、親御さんから寄付するよう要請する運動を提案したいがどうか  (1)これまで取り組み状況(4回)と平成22年度の取り組み方針について伺う  (1)県は4年計画でこれに取り組むが、雲南市はどのように呼応連携して進めようとしているのか  (1)出雲市からの発車を機会に有人駅で停車中に童謡メロディー(市内童謡うたおう会)を流すことにより、乗客に奥出雲の優しさや心の豊かさを感じてもらおう仕掛けはできないか	
10	22	板持達夫 (一括)	1.市立雲南病院に向けて 再生策について	(1)過疎地域に於ける雲南市において、安心して入院が出来る中核病院は存続が大命題。そこで、市立病院存続に市の財政支援はどこまで可能か	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			2.学校給食体制を新たな雲南市給食会方式で取り組む方策について	<p>(2) 昨年新型インフルエンザ休日診療は雲南医師会の全面支援を受け、大変な効果を挙げた。市立病院化の再生策として雲南医師会とのより連携強化を図り、経営改善に取り組む考えはないか</p> <p>(1) 伸び盛りの子供達への給食は、まず安全な食材であること、地産地消の食材の提供、そして食育が原点と考えるがどうか</p> <p>(2) 完全民営化では将来にわたってこのことが担保できないと考えるがどうか</p> <p>(3) 雲南市方式の市給食会を新設し、栄養・調理・食材の確保・食育が子供達の発育に有効となるよう、そして調理に働く人たちが安心して全精力を注げる、そうした体制を組むことが有効ではないか</p>	
1 1	1 5	村尾晴子 (一問一答)	<p>1.安全な生活の確保について</p> <p>2.福祉サービスの現状と対応について</p> <p>3.医療について</p>	<p>(1) 温泉駐在所の廃止について、市の対応は</p> <p>① 尾原ダム完成に伴い、交通量の増加、交流人口の動きなどで駐在所廃止は絶対に容認できないと考えるがどうか</p> <p>(1) 介護保険について</p> <p>① 施設入所者の苦情の状況と対応について</p> <p>② 在宅サービスの状況と対応について</p> <p>③ 介護相談員の状況と拡充について</p> <p>④ 老老介護の現状と対策について</p> <p>(1) 子宮頸がん予防へ助成する考えはないか</p> <p>(2) ヒブワクチンと小児用肺炎菌ワクチンに助成をする考えはないか</p>	
1 2	1	佐藤隆司 (一問一答)	1.音声告知放送設備について	<p>(1) 音声告知放送の加入状況はどうか</p> <p>(2) 緊急時の放送体制について</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			<p>2.普通建設事業について</p> <p>3.雲南市立学校適正規模 適正配置基本計画について</p> <p>4.環境マネジメント事業 について</p>	<p>(1)平成 21 年度に比べ 35%減であるが、即効性のある きめ細かな経済対策をする必要があるのではないか</p> <p>(1)中学校の統合計画について、計画前期において積極 的な検討を進めるべきでないか</p> <p>(1)更新の必要性について問う</p> <p>(2)この事業の全市的展開について問う</p>	
13	6	細木和幸 (一括)	<p>1.道徳教育の強化につい て</p> <p>2.中山間地域直接支払3期 目以降における高齢化 対策について</p> <p>3.農作物の含有分量の 変化について</p> <p>4.職員の退職勧奨年齢に ついて</p>	<p>(1)家庭、学校、地域社会における道徳教育が弱く見え る。思想、宗教等の難しい事柄と調整する中で、大 切な道徳教育がジリジリと弱い立場に追い込まれて きた感じがするが、これの強化についての考えを伺 う</p> <p>(1)地元では高齢化の著しい進行により「向こう 5 年間 自信が持てない」という不安の声が聞かれる。制度 維持が崩れても、交付金を遡って返還する部分等は 配慮できないものなのか、高齢化対策を伺う</p> <p>(1)受粉なしで出来る茄子、イボのない胡瓜、苺のよう なトマト、虫の付かない野菜等作り易さ、食べ易さ を追求して改良された農作物が多くなっている。学 者によっては、含有分量が低下して、食物本来の 役割低下を指摘される。担当部の考えを伺う</p> <p>(1)厳しい財政状況にあり、一方世の中は高齢社会です。 高齢者の立場から見ると『孫』のような職員ばかり よりも、やはり社会経験を積み上げてきた 60 才あた りの職員がおられることは安心感がある。役付職員 にしても、完熟期を 60 才までは燃えつくしてほしい。 退職勧奨年齢を引き上げる考えはないか伺う</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
14	23	石川幸男 (一問一答)	1.社会教育の充実について  2.農業振興について	(1)社会教育コーディネーターの配置で、学校、家庭、地域や行政が連携し、一体となって社会教育が推進される。 ①家庭、地域の教育力の現状、背景について認識を伺う ②現状と課題にどう取り組むのか考えを伺う  (1)農家の米戸別所得補償制度のモデル事業が、平成23年度本格実施に向け実施される。 ①農業政策として、モデル事業をどう評価するのか伺う ②高齢化、後継者難、耕作放棄地の増加、担い手不足、米価や消費の低迷など差し迫った現状を打開することになるのか伺う ③集落営農や小規模農家、兼業農家など中山間の多様な農業経営が存在する雲南市の食料、農業、農村を守る将来の姿をどう描くのか伺う	
15	12	細田実 (一問一答)	1.市政の展望について  2.食育と学校給食について  3.総合センターについて  4.定員管理計画について  5.子育て支援について	(1)財政計画も減へ、施設も減へ、職員も減へ、が人口の減へ、経済の減へ、職員・住民の展望の減へ、となっていないか。今後の展望を問う  (1)学校給食をどう充実させるかが雲南市の今後の食にとって重要。どう充実させるか。民間委託では教育としての学校給食が充実できないのではないかと  (1)総合センターは旧町村の地域づくり、防災の拠点。充実が必要ではないかと  (1)定員管理計画と地域経済の関係をどう考えるか。官制の不安定雇用を生み出していないかと  (1)「うしおっ子ランド」など地域での子育て支援が取り組まれているが、所信表明にある「子育てにかかる経済的負担の軽減」にどう応えるかと	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
16	18	光谷由紀子 (一問一答)	1.行財政改革実施計画と 具体的施策について	(1)行政責任を果たすことにより、市民が行政を信頼し、 お互いに協働が生じると考えるが所見を問う  (2)具体的施策について ①公立保育所の民間委託について イ. 住民本位の視点でサービスを見直すところがあるが、 人件費削減からの発想ではないか ロ. 平成23年度以降の導入検討は止めるべきだ。 考えを問う ②組織機構の見直しと定員管理の適正化について イ. 削減計画で市民サービスの向上が図られるの か ロ. 総合センターの組織再編は住民サービスの維 持向上、災害時の対応をどう考えるのか ③学校給食運営の見直しについて イ. 「愛といのちを育む教育環境の充実」「食育教 育」の取り組みと大きく異なるのではないか ロ. 「地産地消の推進」「雲南の食のブランド化」と も逆行するのではないか ハ. 職員の職務転換に問題はないのか ニ. 委託による非正規雇用の問題はないのか ホ. 地元野菜の高利用率について全国から注目さ れている。見直しは委託ではなく「直営方式」と すべきではないか	
			2.保健・医療の拡充につい て	(1)子宮頸がんはワクチンと検診で100%予防できる。 小学校6年生から中学生の間にワクチン接種で予防 できる。ワクチン接種の公費助成を求めるがどうか  (2)乳幼児の細菌性髄膜炎ワクチン接種の公費助成を求 めるがどうか	
			3.就学援助制度について	(1)就学援助制度のお知らせに支給対象者がわかるよう に親の所得基準額と世帯構成人数を明記すべきでは ないか  (2)援助対象費目に眼鏡、コンタクトレンズの購入代や 卒業記念アルバム代等の独自助成を求めるがどうか	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			4.企業立地認定について	<p>(1)産業振興条例、助成金交付規則、要項に基づく4社それぞれの助成内容と金額は</p> <p>(2)民々間の譲渡であっても新設なのか</p> <p>(3)今後同じような事案についても申請があれば助成対象となるのか</p>	
17	9	福島光浩 (一問一答)	<p>1.ワカモノに対する考えと人財育成について</p> <p>2.「新たな公」と行革について</p>	<p>(1)市・市政にとってワカモノがどういう存在であると考え、どのような期待をしているか</p> <p>(2)これまでワカモノ向けにとってきた施策とその評価、来年度の具体的な取り組みは</p> <p>(3)ワカモノを「雲南の力」として育成するために、ワカモノを対象とした委員会の設置や、直接対談の機会をつくってはどうか</p> <p>(4)地域人財の育成を継続性のあるものとしていくためには、行政や議会の仕組みを生活者教育として実施していくことが重要である。教育プログラムの中で、きちんと位置づけていくことを求めるがどうか</p> <p>(5)市や関係機関が主催・後援するイベント、また講演会などの学習機会の提供が乱立している。効果をあげるためにも、市のアピールのためにも1Dayイベントとして集約し、幸雲南塾の市民向けバージョンを開催してみてもどうか</p> <p>(1)「新たな公」とか「新しい公」という言葉が国政においても頻りに用いられるようになったが、どのように捉えているか。また市政において、今後の何らかの展開を考えているのか</p> <p>(2)持続可能な自治体運営に向けた行革が一層求められる。地域に新たな雇用を生み出しながら、更なる市民サービスの向上につながる行革が求められるが、具体的な考えは</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
			3. 学校適正規模適正配置 基本計画について	<p>(3)市役所の電話窓口の一本化、市役所の総合窓口案内など設置し、業務をアウトソーシングできないか</p> <p>(4)告知放送の一本化、ケーブルTV放送のデジタル化に伴い、情報政策、広報業務のあり方の抜本的な見直しが必要と考えるが、その方針を問う</p> <p>(1)答申を尊重し、様々な諸課題を総合的に判断した上での基本計画とされている。しかし、具体的な検討の内容・結果が見えない。根幹である子どもの「学び」と「育ち」についてどの様な検討がされてきたのか</p> <p>(2)行政側の都合である「学校区」や「各町の区域」とらわれた計画となっている。子ども達にとって地域は「雲南」であり、大義が失われていると考えるがどうか</p> <p>(3)学区の規制が子育て世代の地域離れを加速させているところがあるように見受けられる。地域の存続、まちづくりにも大きく関わるが、この現状をどう考えているのか</p>	
18	10	藤原政文 (一問一答)	<p>1. 新年度の市政運営について</p> <p>2. 第2次雲南市教育基本計画について</p>	<p>(1)「ゼロ予算」事業と位置付けられる事業はあるのか</p> <p>(2)あるとすれば、具体的に示されたい</p> <p>(3)「合併による均一化の名の下に元気のなくなったものの見直し」を市長は指示されたと昨年の全員協議会で発言があった。その後どのような議論があり、新年度にどのように繋がったのか伺う</p> <p>(1)第1次の同計画をどのように総括するか</p> <p>(2)第1次同計画の反省点、改善点は第2次同計画にどのように反映されているか</p>	



質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項目	要旨	備考
				<p>(3)学校の適正規模・適正配置の推進が計画されている。</p> <p>①地元協議において、保護者の思いと地域の思いの相異をどのように整理し、判断するのか</p> <p>②子供の「学び」「育ち」の視点は計画策定にあたってどこにあるのか</p> <p>(4)中学校の部活動の在り方の方向性は</p> <p>(5)耐震化計画を示されたい</p> <p>(6)学校給食について</p> <p>①現在の地産地消を積極的に推進した学校給食をどう評価しているか</p> <p>②一部民間委託方式で、現在の学校給食が守れるか</p> <p>③学校給食野菜の生産を更に増す方策は</p>	